

トヨタ紡織九州(株)ハンドボール部 原田GMが「トップリングトロフィー」を受賞!!



▲地域と一体となったリーグ運営に取り組まれた原田GM (左)

6月12日、日本トップリング連携機構より平成23年度「トップリングトロフィー」を授与されたトヨタ紡織九州(株)ハンドボール部、原田孝幸GM(ゼネラルマネージャー)が受賞報告に訪れました。



「トップリングトロフィー」は、日本トップリング連携機構に所属する9競技12リーグにおいて運営・マネジメントに貢献したGM等に対して、その栄誉を称えることを目的に授与されるものです。原田GMは地域と連携・一体となったリーグ運営が評価され、この度の受賞となりました。

原田GMは「この受賞を機に更なる地域連携を進め、神崎市をはじめ佐賀県でのハンドボールを活性化することで皆さまへのお礼ができるように努めたい」と話されていました。

支え合い助け合う社会を目指して

社会を明るくする運動キャラバン隊が、7月2日に神崎市役所を訪問しました。

この日は、神埼地区の保護司や地域見守り隊など約30人が参加して、神崎市長へ法務大臣と知事からのメッセージの伝達、広報車による地域への呼びかけが行われました。



▲富吉賢太郎さんの講演

また、7月7日には、神崎市中央公民館で社会を明るくする運動講演会が開かれ、佐賀新聞社編集局長の富吉賢太郎さんを講師に迎え、「コラムの世界…思いやりとやさしさと」と題した講演が行われました。

社会を明るくする運動は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせて犯罪のない地域社会を築こうという全国的な運動です。毎年7月を強調月間として啓発が行われています。



▲法務大臣からのメッセージが伝達されました

全国市区選挙管理委員会連合会表彰を受賞



選挙に関する広範な活動を展開する全国市区選挙管理委員会連合会より、選挙の管理執行や啓発活動への功績が顕著であったとして、神崎市選挙管理委員会の家永亮三委員(千代田町)が表彰されました。

6月28日の神崎市選挙管理委員会で、梅野秀和委員長から表彰の伝達が行われました。

イベントに役立てて



7月2日、神埼建設業協会(牟田正明会長)から、市内で行われる各種イベントに役立ててほしいと30万円の寄付がありました。

ありがとうございました。

花の植栽で思い出作り

7月5日、西郷保育園（神埼町）で、緑の基金助成事業を活用した神埼市商工会女性部の思い出作り事業が行われました。

これは、子どもたちに花の植栽を通して思い出を作ってもらおうという事業で、市内の保育園で実施されており、今年で5回目を迎えます。

当日は、年中児20人と年長児13人が参加。商工会女性部からは11人が参加し、スコップを持って慣れない手つきで花を植える子どもたちと一緒にハイビスカスや日々草をプランターに移植し、園の東側にはブルーベリーの植樹を行いました。

商工会女性部の石井れい子部長は「花の水やりなど毎日お世話をすることで、ものを大切に育む心をもってほしい」と話されていました。



▲花や土の扱い方を教わります

「佐賀ドリームス」全日本中学野球選手権大会出場へ

神埼市千代田町（筑後川河川敷野球場）をホームグラウンドとし、佐賀と福岡の中学生で構成する、硬式少年野球チーム「佐賀ドリームス」は、第15回ジャパンリーグ選手権大会で初優勝を果たし、8月9日から13日まで東京ドームをメイン会場として開催される第6回全日本中学野球選手権大会（ジャイアンツカップ）への出場が決定しました。

全国各地から代表32チームが出場するこの大会で、これまでの練習の成果を存分に発揮し、全力で挑み悔いのない試合をしてきます。

佐賀ドリームスは「地域に愛される球団」をモットーに日々の活動に励んでいます。今後とも、ご支援・ご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。



（神埼市出身：杉山海斗君（神中3年）、實松義浩君（千中3年）、米光貴哉君（千中3年）、嶋真也君（千中3年）

短冊に願いを込めて

7月2日からの4日間、市内や近隣の保育園・幼稚園児たちが、吉野ヶ里歴史公園で七夕の飾り付けを行いました。

園児たちは飾り付けに苦戦しながらも、願いが叶うようにと一生懸命、短冊を結びつけていました。



▲願いごとが叶うかな（仁比山保育園）

この取り組みは吉野ヶ里歴史公園が行っているもので、今年で3回目になります。

一般客用と合わせて全部で21本の竹が用意されており、飾り付けられた竹は7月7日（土）から16日（月）まで、公園西口で展示されました。

地域の宝、文化財を大切に

7月18日、神埼郷土研究会による、文化財の標柱管理と下草刈りが行われました。これは、草が伸びてくるこの時期に、市から委託を受けて毎年行われているものです。

当日は、35度を超える猛暑日の中、会員など20人が額に汗をにじませながら、3班に分かれて、高志神社直鳥クリーク公園など市内の文化財90ヶ所を回り、標柱が倒れていないかなどを確認し、草を刈りました。

会員の一人は「標柱の横に案内板が設置されている所も多いので、地元の文化財の事をぜひ知って、興味がある人は入会してほしい」と話されていました。

